

いる状況。できるだけ速やかに町職員になっていただくため、このような規定となっている。

今後、広報誌およびホームページなどで周知し、今後も継続して取り組んでいきたい。



齋賀 弘孝

- ・町政運営について
- ・宗谷地方南部地震への対応について
- ・酪農、畜産業関連事業の推進について

### ◎町政運営について

**質問** 幌延町交流拠点構想について、禍根を残さないように取り進めたいと執行方針にあるが、創生会議で現状説明されてご理解をいただくのが良いのではないかと。

**町長** 町の財政シミュレーション結果で、現在の予算規模で町政運営をした場合、長期的に不均衡が生じる厳しい結果となり、学校整備と多世代交流施設は同時期に実施できない。創生会議委員皆さまに本施設整備事業の一時中止を文書でお知らせした。  
**質問** 町公式のLINEで情報発信を取り入れてはど

うか。

**町長** 住民や職員の負担を極力軽減し、効率的な運用をするためにLINEアプリを活用する。

**質問** LINEの公式アカウント取得と運用を目指すため必要な手続きを進めているということは、別物2本なのか。

**町長** 1本だけ。双方向で身近にできるような形で、これをベースに、どのようなメニューを組み、どのような使い方ができるかという点など、いろんな方策を考えたい。

**質問** 音威子府村が対話型AI「ねっぷちゃん」の実証実験を開始した。幌延町も取り入れてはどうか。

**町長** 職員の負担が年々増え続ける状況を考えてと有効な手段であると思う。近隣自治体においても、広域的に取り組むことができないのかという話もあるため、情報収集を行いながら、令和8年度以降、検討を進めたい。

### ◎宗谷南部地方地震への対応について

**質問** 地震の被害状況は把握されたのか。

**町長** 気象庁の発表では震度3との発表だったので、特段に動かなかったが、二日後に防災科学技術研究所から震度6弱が観測されたことと情報があったことから、職員等の聞き取りにより情報収集を行い、現状の把握に努めた。

**質問** どのような被害情報を共有したのか。

**町長** 5軒ほど調査した。ただ現時点では雪があるため、融雪時期ぐらいに再度一軒一軒調査をしながら応急処置的な対応が必要と思っている。

**質問** 住宅などの修理の補

助はどうするのか。

**町長** 耐震強化する補助金やリフォーム補助金を有効に使って、少しでも負担軽減ができればいいと思っている。

### ◎酪農、畜産業関連事業の推進について

**質問** 農業法人の設立などについては、令和5年度から令和8年度までの執行方針で、同じことを書いての繰り返しである。まったく進まないのか、それとも今年度は法人設立最終年度にしていく形なのか。

**町長** 年数をかけすぎて時間がかかっているの一言である。やはり経済だから、そのタイミングだったり債務を背負ってどこまでやるということになると、難しい話になると私どもは思っている。担い手育成センターが中心となり、就農の部分一つやとまとめ上げたのは、大きな明かりがともった。

## 北留萌消防 組合議会

(2月25日)

幌延町から担当議員として、無量谷議員が出席した。令和8年度予算総額は15億1609万2千円。うち、幌延町負担分は2億351万6千円。

主な事業として庁舎電灯のLED化で379万5千円、旧庁舎無線設備撤去で125万2千円、消防団用高視認性雨衣で95万5千円、消防ポンプ自動車購入で464万5千円など。

## 西天北五町衛生施設 組合議会定例会

(2月27日)

高橋秀之議員と深澤議員が出席。

令和8年度予算案を審議。総額7億1,096万5千円。全会一致で可決。

定例会前に全員協議会が開催された。議事①令和8年度以降、粗